

作成日：2014年 8月26日

改定日：2016年11月30日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	ケーブルスムーザー NCS-700
会社名	ジェフコム株式会社
住所	東大阪市中石切町3-13-16
担当部門	品質管理課
電話番号	072-988-3813
FAX番号	072-988-3800
推奨用途	ケーブル等の入線潤滑

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体

区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）

区分5

急性毒性（経皮）

分類できない

急性毒性（吸入）

分類できない

皮膚腐食性・刺激性

区分3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分2B

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

区分1B

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）

区分1（中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓）

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）

区分1（中枢神経系、呼吸器、心臓）

吸引性呼吸器有害性

分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性毒性

区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ

眼刺激

軽度の皮膚刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器（中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓）の障害

長期、反復暴露による臓器（中枢神経系、呼吸器、心臓）の障害

注意書き

予防策

注意書きをよく読み取り扱うこと
作業中は換気を良くすること
飲み込んだり、蒸気を吸入しないこと
皮膚に触れないように注意し、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク・保護衣等の適切な保護具を着用すること
環境への放出を避けること

応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で、十分に洗浄する。
目に入った場合 直ちにまぶたを開いて、清浄な流水で15分以上洗眼した後、眼の刺激が持続する場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 無理に吐かせず口をすすぎ、医師の診断を受ける。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物

成分及び含有量

成分名	化学式	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有量(%)
水	H ₂ O	7732-18-5	—	40～50
エチレングリコール	C ₂ H ₆ O ₂	107-21-1	2-230	30～40
固形パラフィン	C _n H _{2n+2}	8002-74-2	—	4～5
増粘剤	—	—	—	—
着色料	—	—	—	—

(上記記載の一は、不明又は非公開を示す)

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で十分に洗浄する。
目に入った場合 直ちにまぶたを開いて、清浄な流水で15分以上洗眼した後、眼の刺激が持続する場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 無理に吐かせず口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 耐アルコール性泡消火剤、粉末消火薬剤、炭酸ガス
使ってはならない消火剤 棒状放水、
火災時の特定危険有害性 刺激性もしくは有毒なガスが発生する恐れがあるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特定の消火方法 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護 消火活動は、可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。
消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 作業の際、皮膚に触れないようにゴム手袋等、保護具を着用し、換気を良くして処置する。
環境に対する注意事項 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法・機材 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス・雑巾等でよく拭き取る。
二次災害の防止策 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
全ての着火源を取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

注意事項

眼に入らないよう注意する。

安全取扱い注意事項

取扱い後は、手などをよく洗う。

保管

適切な保管条件

高温、多湿の場所を避け、通気の良い屋内で密封保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
適切な排気換気装置を使用する。

管理濃度

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

設定されていない

ACGIH

設定されていない

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク

手の保護具

保護手袋

目の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

粘性液体

色

桃色

臭い

無臭

pH

6～8

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点

データなし

融点

データなし

引火点

データなし

発火点

データなし

爆発特性

爆発限界

下限 3.2vol% 上限 15.3vol% （エチレングリコール）

溶解性

溶媒に対する溶解性

水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の取り扱い条件においては安定

避けるべき条件

強酸化剤、強塩基との接触、高温

危険有害な分解生成物

燃焼の際は煙、一酸化炭素等が生成される

11. 有害性情報

急性毒性

エチレングリコール： 経口 ラット LD50 4000mg/kg
経皮 ラット LD50 10600mg/kg

局所効果

目

データなし

皮膚

データなし

発がん性

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境急性有害性	エチレングリコール：	魚類 ニジマス LC50(96h) 47000 μ g/L
環境中での分解性・移動性、生物への蓄積性		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	多量に廃棄する場合は、廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
-------	--

14. 輸送上の注意

国内法規制

陸上輸送	消防法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類	非該当
国連番号	非該当
輸送の特定の安全対策及び条件	・転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。

15. 適用法令

消防法	非該当
労働安全衛生法	エチレングリコール： 57条の2 名称等を通知すべき物質 固形パラフィン： 57条の2 名称等を通知すべき物質
化学物質管理促進法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当

16. その他の情報

注意事項

1. 本データシートは、化学製品の工業的な一般的取扱いに際しての安全な取扱いについて最新の情報を集めたものですが、万全ではありません。
2. 本データシートの内容は、新しい知見により追加又は訂正されることがあります。
3. 製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、使用者の責任において安全性の評価を実施して下さい。
4. 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的・化学的性質、危険・有害性等に関しましては、いかなる保証をなすものではありません。